

導入事例 日本クリンゲルンベルグ株式会社

システム刷新を機にBPRにも 「SAP Business One」で業務

着手 改革を実現

産業用機械などの分野で高いシェアを誇る日本クリンゲルンベルグでは、情報システムの分散による、業務効率の低下、人為的ミスが課題となっていた。同社では、それを解決するため、「SAP Business One」を導入。また導入パートナーであるIMGジャパンの提案を受けながら、BPRにも取り組んだ。一連のプロジェクトにより、業務効率の向上や人為的ミスの一掃に成功している。

バラバラなシステムによる 非効率、人為ミスが課題に

機械工具の分野で独自の地位を確立しているクリンゲルンベルグ社は、欧州を本拠としてビジネスを展開し、特に動力の伝達効率が良く、工業機械などに多く用いられるスパイラルベルギアの製造機械ではトップクラスの実績を誇っている。その日本法人が日本クリンゲルンベルグである。

「日本での営業活動は50年以上におよびます。以前から重工業などで高い

シェアを持っていましたが、数年前からは自動車産業にも注力し、全体の業績も拡大しています」と同社 代表取締役社長のオリヴァー・ツアーン氏は語る。

しかし、順調に事業を拡大する一方で、情報システムの課題も顕在化していた。様々なシステムが混在しており、それらの連携も不十分なため、非効率で人為的なミスも避けることができなかったのである。そこで、同社は情報システム刷新の検討を開始した。

外資系企業への豊富な導入実績など IMGジャパンのノウハウを評価

システム刷新の要件について、プロジェクトマネージャーを務めたイナ・シグムンド氏は、「日本語と英語の両方に対応していること、そして、私たちの業務プロセスをきちんとサポートできること」と話す。

同社では、シグムンド氏を中心に、条件を満たすパッケージ・ソリューションを複数選定し、比較検討を行った。そして、最終的に採用を決定したのがSAPの「SAP Business One」である。

同ソリューションは、中堅・中小企業

を主なターゲットとし、財務会計や販売管理、購買管理、在庫管理、顧客管理といった主要な業務プロセスを包括的に提供するERP製品。モジュールを中堅・中小企業のニーズに合わせて最適化することで、短期間かつ低コストでの導入を実現し、すでに世界中で1万社以上がこのソリューションを活用している。

SAP Business One導入プロジェクトのサポート役は、IMGジャパンが務めた。

IMGグループは、SAPをはじめとするERPの導入コンサルティングにフォーカスして事業を展開してきた企業。外資系企業などへの導入経験が豊富なことなどが決め手となった。

プロジェクトをともにやり遂げた今、日本クリンゲルンベルグはIMGジャパンの実力を高く評価している。「私たちのビジネスに対する高い理解、豊富な知識で、ビジネスプロセスのシステムへのマッピング案を素早く提示してくれました」とツアーン氏。シグムンド氏も「英語だけでなく、ドイツ語でのコミュニケーションをとってくれた点も非常に助かりました」と続ける。

新たな手法を採用し より正確な商品管理を実現

新システムにより、人為ミスはなくなり、業務の効率化が実現した。「2年半前と比べ、日本での売上高は3.5倍に成長していますが、倉庫管理や経理業務の人員はまったく増えていません。全社的にも、人員の増加は3~4割にとどまっています」とツアーン氏は強調する。

また、より効率的で正確な情報の管理も実現した。同社の商品には、機械製品、部品、有償保守メンテナンスな



日本クリンゲルンベルグ株式会社 代表取締役社長

オリヴァー・ツアーン氏

どのサービスがあるだけでなく、販売形態にも、受注を受けて本社に発注する「直送」、自社で所有して販売する「在庫」、本社が所有しているが在庫自体は同社の倉庫に抱える「本社預託品」と複数の種類がある。これらの管理は非常に難しく、中でも本社預託品については、以前は個別に紙ベースで管理を行っていた。しかし、今回のシステム刷新により、すべての情報をシステム上で管理できるようになっただけでなく、必要な情報の抽出も容易になり、本社への提出資料の作成も手間をかけず、迅速に行えるようになった。

一連のプロジェクトを振り返り、ツアーン氏は「成長軌道にある当社のビジネスを支えるためのシステムを整備することができました。今後のビジネスがどのような方向に進もうとも、それを支えてくれるでしょう」と強調する。ここ数年の懸案を片付けたことで、日本クリンゲルンベルグは一層の事業拡大に向けてアクセルを踏もうとしている。

Point ■ ■ ■ 豊富な経験から生まれた提案で ERP導入を機にBPRも実現

IMGジャパンのERP導入ノウハウは「PROMET」シリーズと呼ばれる方法論にまとめられ、数多くのプロジェクトを成功に導いてきた。その経験をベースに、今回はIMGジャパンから積極的なBPR(ビジネス プロセス リエンジニアリング)提案が行われた。その1つが商品管理法である。シグムンド氏は「IMGジャパンの提案を受け、SAP Business Oneの「次元」という機能を使い、商品を「仕入れ先」「商品分類(機械、部品、サービス)」「用途」で管理するようにしました。情報抽出の切り口が増え、レポートがより効率的に行えるようになりました」と説明する。これにより、従来は把握が難しかった預託品も見える化できた。「預託品の問題に気づいたのはプロジェクト後半でしたが、IMGジャパンが柔軟に対応してくれました」とシグムンド氏。ビジネスとITに精通する同社の能力が遺憾なく発揮されたプロジェクトだったといえるだろう。

本事例に関するお問い合わせは

IMG ジャパン株式会社
TEL : 03-5796-2823
E-mail : img-j@img.com

SAP製品に関するお問い合わせは

SAP ジャパン株式会社
TEL : 03-3273-3500

SAPの成長・中堅企業支援ポータル
[SAP ANSWER] <http://www.sap-answer.com/>

Profile

日本クリンゲルンベルグ株式会社

本社所在地：〒222-0033
神奈川県横浜市港北区
新横浜1-13-12
クリンゲルンベルグ・ビルディング
設立：1954年
資本金：5000万円
事業概要：機械工具の日本での販売、及びそれに関わるサービスの提供



IMGジャパン株式会社

本社所在地：〒108-0075
東京都港区港南二丁目16-4
品川グランドセントラルタワー6F
設立：1998年
資本金：1億5000万円
事業概要：ERP製品等の導入コンサルティングサービスの提供。世界各地に展開する拠点を活かし、外資企業への導入に強みを持つ。
<http://www.img-j.co.jp/>



日本クリンゲルンベルグ株式会社 プロジェクトマネージャー

イナ・シグムンド氏